飲食店
EATING AND DRINKING PLACES

飲食店とは

飲食店は、日本標準産業分類において、「宿泊業、飲食サービス業」（大分類）に分類され、「客の注文に応じ調理した飲食料品、その他の食料品、アルコールを含む飲料をその場所で飲食させる事業所」などと定義されています。なお、その場所での飲食と併せて持ち帰りや配達サービスを行っている事業所も飲食店に含まれます。

許認可

提供する料理内容、営業形態によっては、飲食店の営業許可だけでは営業できない場合がありますので、ご留意ください。

例	パンを製造して販売する	菓子製造業の許可
	ふぐ料理店	ふぐ販売営業の許可
	深夜0時以降に営業する	深夜営業の許可※

※正確には「深夜における酒類提供飲食店営業の営業開始届出」というもので、お酒をメインに提供する場合に必要な許可です。

なお、「食品衛生法」の規制以外に、各自治体の条例による規制があります。管轄する自治体の条例等を遵守し、必要な許可を取得するようにしてください。

食品衛生法上の許可に関する相談窓口：大阪府食の安全推進課業務グループ TEL：06-6944-6702
または、営業所の所在地管轄の保健所

point ! 事業計画のポイント・留意点

「居酒屋」「喫茶店」の創業計画書例を掲載しています。

「居酒屋」の場合、競争相手が多い業界のため、店舗のコンセプトと競合とのポジショニングを明確にし、納得のいく立地条件を選定することがポイントです。居抜き物件を有効に活用することで初期投資を抑えることも可能ですが、造作物の取扱いについては留意してください。

「喫茶店」の場合、多様な競合が多数の中、コンセプトと差別化を明確にすることが重要です。小規模店舗の場合、店舗席数に影響しないテイクアウトや出前などで店外売上を確保するなど、回転率や単価が低くとも収益を確保できる対策に留意してください。

飲食店（居酒屋）創業計画書例

顧客番号					–					

（創業関連保証・再挑戦支援保証用）

創業・再挑戦計画書

令和
西暦　　年　　月　　日
（どちらかに○印を付けてください）

大阪信用保証協会　御中

〔申込人〕
住　　所
会 社 名
氏名または
代 表 者 名

創業関連保証・再挑戦支援保証の申込みにあたり、以下のとおり創業・再挑戦計画を提出します。

1. 事業概要

開 業 形 態	個人事業・会社事業	商　号（個人） 会社名（会社）	
開業（予定）住所	電話　　（　　）		
開業届出（個人） 設立登記（法人）	有　・　無	開業（予定）年月日 設立（予定）年月日	令和 西暦　　年　　月　　日
業　種	飲食店（居酒屋）	資 本 金	〔会社設立（予定）の場合〕 円
許 可 等 ［許可等取得が必要な場合］	（種類）飲食店営業許可 （許可・免許・登録・認証の別を記入）	（根拠法）食品衛生法 ［取得すべき許可等の根拠法を記入（（例）食品衛生法）］	
従業員数	2	取扱品：酒類・料理　等	仕入先：○○（株） ○○酒店　ほか
開業動機・目的	飲食業界での調理、店舗管理など20数年の経験を活かして、もっと気軽に安心・安全な旬の食材を提供したい。 自己資金の準備と農家や漁港からの直接仕入できるルート、さらにはコンセプトに合った居抜き物件が見つかったことで起業を決意した。		
開業に必要な知識、技術、ノウハウの習得	○年から○年までの15年間、老舗料亭にて調理技術を学んだ。 ○年から5年間、大手ホテルレストランのマネージャーとして収支管理、人材教育などの経験を学んだ。		
〔会社設立予定の場合〕 出資者・出資額			
事業協力者の住所・氏名・勤務先			

2. 創業準備の着手状況〔下記の該当事項に○印を付けて下さい〕

ア　設備機械器具等発注済である。
イ　土地・店舗を取得するための頭金等支払済みである。
（ウ）　土地・店舗を賃借するための権利金・敷金支払済みである。
エ　商品・原材料の仕入を行っている。
オ　事業に必要な許認可を受けている。
（カ）　事業に必要な許認可取得未了（許認可取得見込み（申請状況や取得予定時期等）を具体的に記入してください。）
（速やかに申請し、2ヵ月以内に取得する予定です。　　）
キ　その他（具体的に記入して下さい　　）

3. 運転資金計画

名　　称	金　　額	積　算　内　訳
商品・材料等の仕入資金	530 千円	創業時の仕入 1か月分
人　件　費　等	700 千円	人件費 2か月分
そ の 他 の 資 金	1,070 千円	家賃、その他経費 2か月分＋予備費 70千円
計	A　2,300 千円	

4. 設備計画

区分	土地・建物	面　積	取得方法［自己・新築／取得・賃貸］	取得に要する資金	契約年月日	取得（完成）年　月　日
事業用不動産	土　地	㎡		千円		
	建　物	80 ㎡	賃貸 保証金	2,600 千円		
	計	B　（取得に要する資金）　2,600　千円				

区分	名　称	型式・能力	数 量	単 価	金　額	発 注 先	設置（完成）年　月　日
機械器具・什器備品等	内外装工事費	○○○	○	○○	3,000 千円	○○○	
	設備	○○○	○	○○	1,000 千円	○○○	
	備品	○○○	○	○○	1,000 千円	○○○	
	計	C　（金額）　5,000　千　円					

※おおよその額ではなく、契約書・見積書等に基づいた内容を記入してください。

居抜き物件の有効活用で、設備投資を抑えた。

5. 今回の資金計画による必要資金合計

A＋B＋C＝　9,900　千円　（D）

※「◆資金調達計画」の合計額（D）と一致させてください。

6. 資金調達計画

	預金			預金以外	
自己資金	預け先（金融機関本支店名等）	預金種別	金　額	種　類	金　額
	○○信用金庫○○支店	普通	1,400 千円	有価証券	千円
	○○信用組合○○支店	普通	900 千円	賃貸 保証金	2,600 千円
			千円	その他（具体的に）（　　）	千円
			千円		
	自己資金合計		4,900 千円		

	借入先	年利	借入額	毎月返済額	借入期間
借入金等（※）	今回の借入額	○.○%	5,000 千円	60 千円	'22.○.○～'29.○.○
			千円		・　～　・
			千円		・　～　・
			千円		・　～　・
	借入金等合計		5,000 千円	調達資金 合計	D　9,900 千円

（※）今回の資金調達計画の中による借入金等をご記入ください。

※年間返済額720千円
※借入金は利益で返済できるよう計画をたてる必要があります。

※今回の借入額は、わかる範囲で記入してください。

7. 収支計画（今後1年間分）

支	出	収	入
仕　入　高	6,787 千円	売　上　高	20,669 千円
外 注 工 費	千円	工 賃 収 入	
人　件　費	4,200 千円	雑　収　入	
その他費用	6,000 千円		
利　　益	3,682 千円		
計	20,669 千円	計	20,669 千円

【客数・単価根拠より】
昼　2,344千円
夜　4,443千円

【客数・単価根拠より】
昼　5,859千円
夜　14,810千円

※個人事業の場合、事業主の給与は除きます。

※借入金の年間返済額720千円を上回る計画額です。

8. 販売・仕入先

主な販売先・受注先	販売・受注予定額	回収方法	主な仕入先・外注先	仕入・外注予定額	支払方法
一般客	年　20,669 千円	現金	○○（株）	年　3,400 千円	月末締め 翌月○日現金払
			○○酒店	年　2,280 千円	20日締め 翌月○日現金払
			○○農場	年　1,107 千円	月末締め 翌月○日現金払

※回収方法・支払方法に加え、サイトがわかるよう具体的に記入してください。

9. 借入金等状況（※）

借入先等	資金使途	借入残高	残　存 返済期間	年　間 返済額
○○信用金庫	住宅ローン	4,200 千円	60 ヶ月	840 千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円

（※）現在負担している非事業性を含む借入金等で、今回の資金調達計画によるもの以外をご記入ください
（経営者本人が負担している保証債務も含みます）。

■客数根拠

【平日】
昼　25席×1回転×20日＝500人/月
夜　25席×0.8回転×20日＝400人/月

【土曜】
昼　25席×0.5回転×5日＝62人/月
夜　25席×0.5回転×5日＝62人/月

3か月目から認知度向上により客数約10%増
（→昼620人/月、夜500人/月とする）

■単価根拠

昼　定食の平均単価のため800円（競合平均850円）
夜　メニュー構成より2,500円平均（ドリンク3杯、料理2品）

原価率は昼40%、夜30%で試算

人件費：従業員200千円/月、パート150千円/月
家賃：260千円/月
その他経費：240千円/月
（通勤交通費20千円/月、光熱費90千円/月、ほか消耗品費、減価償却費、借入金利息など）

飲食店（居酒屋）創業計画書例

10. 自己資金算定額

	種　類	明　細	金　額
自己資金等	普 通 預 金	○○信用金庫○○支店 2,000千円　○○信用組合○○支店 900千円	2,900 千円
	定 期 性 預 金		
	有 価 証 券 等		
	入居保証金等	賃貸 保証金	2,600 千円
	設 備 充 当 等		
	合　計		①　5,500 千円

	借　入　先	資金使途	残　存 返済期間	年　間 返済額	年間返済額の２年分 （２年以内のものは全額）
借入金等	○○信用金庫	住宅ローン	60 ヶ月	840 千円	1,680 千円
	合　計				②　1,680 千円
自己資金額（①－②）＝					③　3,820 千円

11. その他（計画に関する補足説明がありましたらご記入ください）

農家や漁港から直接仕入れできる強みを活かし、旬の食材をリーズナブルな価格で提供したい。

ホテルレストランでの経験を活かして接客にもこだわり、居心地の良い空間づくりに努め、リピーター増加を目指す。

飲食店(喫茶店) 創業計画書例

顧客番号					-					

(創業関連保証・再挑戦支援保証用)

創業・再挑戦計画書

令和
西暦　　年　　月　　日
(どちらかに○印を付けてください)

大阪信用保証協会　御中

〔申込人〕
住　　所
会 社 名
氏名または
代 表 者 名

創業関連保証・再挑戦支援保証の申込みにあたり、以下のとおり創業・再挑戦計画を提出します。

1. 事業概要

開 業 形 態	(個人事業)・会社事業		商　号(個人) 会社名(会社)		
開業(予定)住所	電話　　(　　)				
開業届出(個人) 設立登記(法人)	有 ・ 無		開業(予定)年月日 設立(予定)年月日	令和 西暦　　年　　月　　日	
業　種	飲食店(喫茶店)		資 本 金	〔会社設立(予定)の場合〕 円	
許 可 等 [許可等取得が必要な場合]	(種類)	飲食店営業許可 (許可・免許・登録・認証の別を記入)	(根拠法)	食品衛生法 [取得すべき許可等の根拠法を記入((例)食品衛生法)]	
従業員数	1	取扱品：軽食・コーヒー等	仕入先	(株)○○ ○○フード(株)	
開業動機・目的	普段より外食する時に、安心して利用できる飲食店が少ないことから、安心・安全なオーガニック食材を利用して無添加の体に優しい食事を提供したいという思いが強くなり、創業を決意した。				
開業に必要な知識、技術、ノウハウの習得	オーガニック食材を販売する店舗に10年ほど勤めていたことで、オーガニック食材に関する知識と仕入ルートがある。そこでは販売のほか、近隣の主婦向けに完全無添加の料理教室を開催していたため、多数のレシピを習得することができた。 2年前からは飲食店の運営を学ぶべく、近所の飲食店で経験を積んでいる。				
〔会社設立予定の場合〕 出資者・出資額					
事業協力者の住所・氏名・勤務先					

2. 創業準備の着手状況〔下記の該当事項に○印を付けて下さい〕

(ア) 設備機械器具等発注済である。
イ　土地・店舗を取得するための頭金等支払済みである。
ウ　土地・店舗を賃借するための権利金・敷金支払済みである。
エ　商品・原材料の仕入を行っている。
オ　事業に必要な許認可を受けている。
(カ) 事業に必要な許認可取得未了(許認可取得見込み(申請状況や取得予定時期等)を具体的に記入してください。)
(速やかに申請し、2ヵ月以内に取得します。　　)
キ　その他(具体的に記入して下さい　　)

3. 運転資金計画

名　　称	金　　額	積　算　内　訳
商品・材料等の仕入資金	520 千円	創業時の仕入 1.5か月分
人　件　費　等	180 千円	人件費 2か月分
そ の 他 の 資 金	500 千円	家賃、その他経費 2か月分
計	A　1,200 千円	

4. 設備計画

※おおよその額ではなく、契約書・見積書等に基づいた内容を記入してください。

区分	土地・建物	面　積	取得方法 [自己・新築 / 取得・賃貸]	取得に要する資金	契約年月日	取得(完成)年月日
事業用不動産	土　地	㎡		千円		
	建　物	45 ㎡	賃貸 保証金	1,500 千円		
	計	B	(取得に要する資金)	1,500	千円	

区分	名　称	型式・能力	数 量	単 価	金　額	発注先	設置(完成)年月日
機械器具・什器備品等	内外装工事費	○○○	○	○○	2,000 千円	○○○	
	設備	○○○	○	○○	1,000 千円	○○○	
	備品	○○○	○	○○	500 千円	○○○	
	その他	○○○	○	○○	500 千円	○○○	
	計	C	(金額)		4,000	千円	

5. 今回の資金計画による必要資金合計

A+B+C= 6,700 千円 (D)

※「◆資金調達計画」の合計額(D)と一致させてください。

6. 資金調達計画

	預金			預金以外	
自己資金	預け先(金融機関本支店名等)	預金種別	金　額	種　類	金　額
	○○銀行○○支店	普通	2,100 千円	有価証券	千円
	○○銀行○○支店	定期	600 千円		千円
			千円	その他(具体的に)(　　)	千円
			千円		
	自己資金合計		2,700 千円		

	借入先	年利	借入額	毎月返済額	借入期間
借入金等(※)	今回の借入額	○.○%	4,000 千円	67 千円	'22.○.○～'27.○.○
			千円		・ ～ ・
			千円		・ ～ ・
			千円		・ ～ ・
	借入金等合計		4,000 千円	調達資金 合計	D　6,700 千円

※年間返済額804千円
※借入金は利益で返済できるよう計画をたてる必要があります。

※今回の借入額は、わかる範囲で記入してください。

(※) 今回の資金調達計画の中による借入金等をご記入ください。

飲食店(喫茶店) 創業計画書例

7. 収支計画(今後1年間分)

支	出	収	入
仕 入 高	4,454 千円	売 上 高	11,136 千円
外注工費	千円	工賃収入	
人 件 費	1,080 千円	雑 収 入	
その他費用	3,000 千円		
利 益	2,602 千円		
計	11,136 千円	計	11,136 千円

売上の40%と設定

【客数・単価根拠より】
モーニング 2,560千円
ランチ 5,120千円
ティータイム 1,920千円
テイクアウト 1,536千円

※個人事業の場合、事業主の給与は除きます。

※借入金の年間返済額804千円を上回る計画額です。

8. 販売・仕入先

主な販売先・受注先	販売・受注予定額	回収方法	主な仕入先・外注先	仕入・外注予定額	支払方法
一般客	年 11,136 千円	現金	(株)〇〇	年 2,854 千円	月末締め 翌月〇日現金払
			〇〇フード(株)	年 1,600 千円	月末締め 翌月〇日現金払

※回収方法・支払方法に加え、サイトがわかるよう具体的に記入してください。

9. 借入金等状況(※)

借入先等	資金使途	借入残高	残 存 返済期間	年 間 返済額
〇〇信用金庫	自動車ローン	2,400 千円	48 ヶ月	600 千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円
		千円	ヶ月	千円

(※)現在負担している非事業性を含む借入金等で、今回の資金調達計画によるもの以外をご記入ください
(経営者本人が負担している保証債務も含みます)。

■客数根拠

【平日】
モーニング 20席×0.8回転×25日=400人/月
ランチ 20席×1回転×25日=500人/月
ティータイム 20席×0.5回転×25日=250人/月
ケーキテイクアウト 6人×25日=150人/月
5か月目より、認知度向上により客数10%増

■単価根拠(平均単価)

モーニング 500円
ランチ 800円
ティータイム 600円
テイクアウト 800円

※近隣競合店舗を調査した結果として同様の単価であるが、オーガニック食材の完全無添加で提供している競合は無い。オーガニック食材および無添加調理のため原価率は40%で試算(業界平均30%)

人件費:パート90千円/月
家賃:150千円/月
その他経費:100千円/月
(通勤交通費10千円/月、光熱費50千円/月
ほか消耗品費、減価償却費、借入金利息など)

10. 自己資金算定額

	種 類	明 細	金 額
自己資金等	普通預金	〇〇銀行〇〇支店 2,100 千円 〇〇信用金庫〇〇支店 600千円	2,700 千円
	定期性預金	〇〇銀行〇〇支店	600 千円
	有価証券等		
	入居保証金等		
	設備充当等		
	合 計		① 3,300 千円

	借入先	資金使途	残存返済期間	年間返済額	年間返済額の2年分(2年以内のものは全額)
借入金等	〇〇信用金庫	自動車ローン	48 ヶ月	600 千円	1,200 千円
	合 計				② 1,200 千円

自己資金額(①-②) =	③ 2,100 千円

11. その他(計画に関する補足説明がありましたらご記入ください)

開業後しばらくは7:30 ~ 17:00までの営業とし、営業が軌道に乗れば夜間の営業も検討する。
近くに大きな公園があり、休日は多くのひとが訪れるため、テイクアウトメニューを充実させたい。
新メニューなどの情報はSNSを使って発信し、一人でも多くの方に知ってもらえるようにする。